



GM管（核酸保存容器）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
福本 幸造

常に最新の技術を駆使し、社員の幸せと社会の発展に貢献する

モリマーメディカルは製品企画の構想段階から量産までワンストップで進められる技術があります。「ものづくり」の力で、高品質かつ安価な医療デバイスの提供等を通じて、世界中の誰もが格差なく最先端の医療サービスを受けられる社会を実現します

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高達成に向け、製品設計から試薬開発・設備製作・量産までを「ワンストップ」で対応出来る強みを活かし、OEM製造の伸長と自社製品の拡充により100億円の売上を目指す

課題

- ・ 対応範囲の広さに比較し人員が不足
- ・ 臨床検査機器の認知度
- ・ 自社企画商品の開発、設計、販売

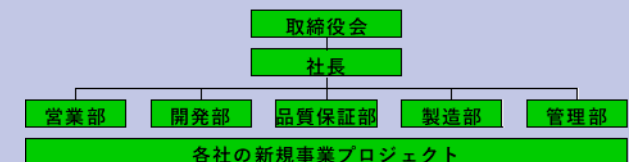
売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 商品力強化：検査キットの高感度化、高機能化と医療以外にも展開
- ・ 製造力強化と高度化：工場環境整備と設備投資で生産体制の増強
- ・ 販売拡大：国内大手企業との協業による拡販
- ・ 海外展開：グループ内のタイ、イギリスとの協業によりアジア、欧州への展開

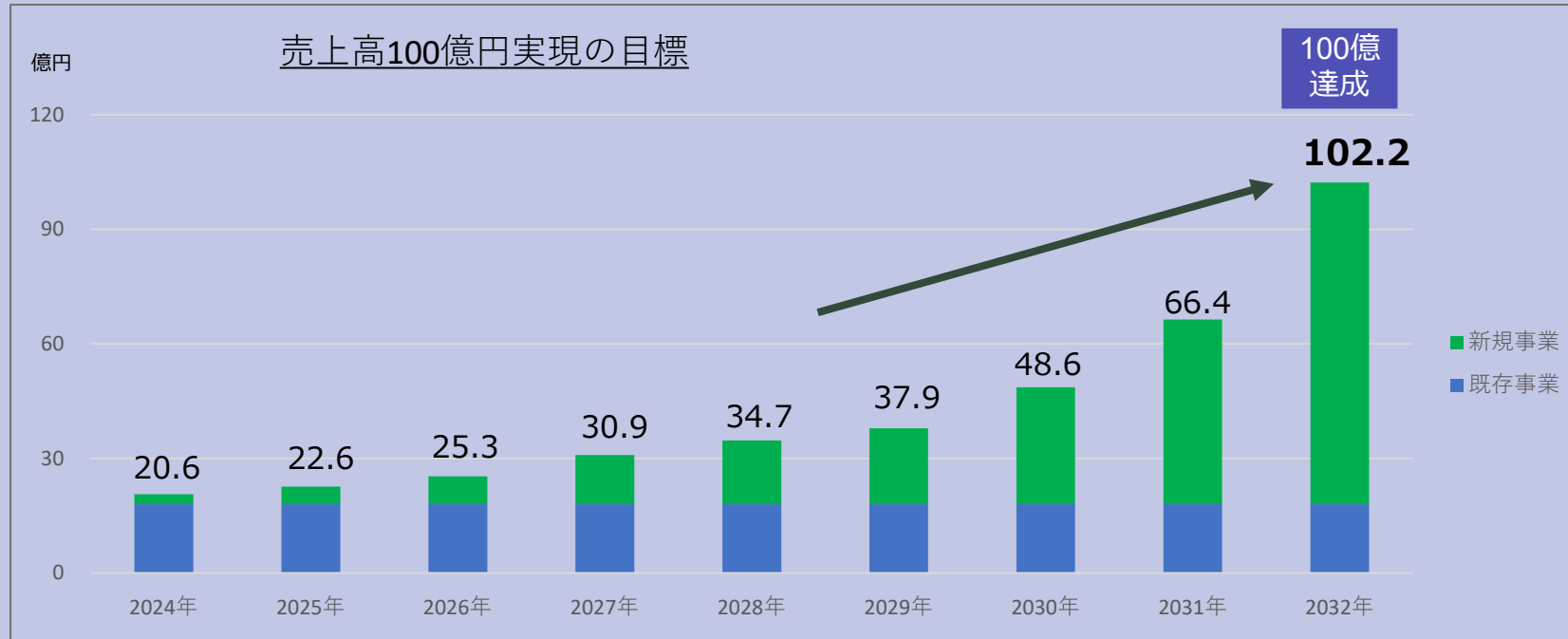
実施体制

社長直下各部門を横断する新規事業プロジェクトを立ち上げ、事業を迅速かつ確実に進める



- 本社所在地：兵庫県加西市朝妻町1044番地
- 事業概要：体外診断薬、医療検査用機器の開発・製造・販売
- 常時使用する従業員：111名（25年3月期）
- 現在の売上高：21億円（25年3月期）
- 法人番号：7140001077356
- Web：
<https://www.molymer.co.jp/company/group/company29>

売上高100億円実現の目標



当社の強みは、医療への進出後、蓄積してきた技術に裏打ちされた開発から上市まで、すべての工程におけるワンストップサービスである。コロナ禍以前、当社は強みを活かし、複数案件を獲得していたが、コロナによってすべてが中止する憂き目を見た。コロナ禍は、体外診断薬メーカーとしての社会的責任を果たすべく、大部分のリソースを検査薬へ配分し、量産体制を維持し続けた。コロナ禍終息後、感染症診断薬のニーズは落ち着き、多くの顧客が新規の案件を再スタートさせた。2024年度に複数の顧客より、量産のパートナーとして選んでいただける状況を確認することができ、市場環境も新規開発案件が増えていることから、OEM事業を主に100億円を目指す目標を掲げている